

# LINE教材を使った授業づくり

大分市教育センター  
情報教育担当班

# 大分県公立学校教員育成指標(教諭等)

キャリアステージ 資質能力		第0ステージ 養成期	第1ステージ 基礎形成期	第2ステージ 発展期	第3ステージ 充実深化・円熟期
		教育に対する知見を深め、求められる資質能力の基盤を形成する	採用から早い時期に、教員としての幅広い視野と能力の伸長を図る	基礎形成期の多様な経験をもとに、中堅教員として各種の分掌主任等を経験することなどで一層の能力伸長を図る	・発展期での経験をもとに、管理分野や教科指導等の専門分野の複線化も視野に入れ、より一層の能力伸長を図る ・学校経営ビジョンを理解し、職責、経験に応じたリーダーシップの向上を図る
教職としての素養	倫理観・法令遵守	高い倫理観を有するとともに、法令を遵守することの重要性を理解している。	高い倫理観に基づき、法令を遵守した教育活動の展開ができる。	高い倫理観をもって、法令を遵守した教育活動を展開することについて、同僚に指導助言ができる。	高い倫理観をもって、法令を遵守した教育活動を展開することについて、同僚に指導助言ができる。
	コミュニケーション能力	状況に応じて、相手が理解できるように自分の考えを伝えたり、相手の話を丁寧に聴くことができる。	関係者との連絡調整を適切に行い、職務を円滑に遂行できる。	組織の目的や自分の意思が相手に充分伝わるよう説明ができるとともに、関係者の協力が得られるよう相手の意見も踏まえながら調整ができる。	組織の目的や自分の意思が相手に充分伝わるよう説明ができるとともに、関係者の協力が得られるよう相手の意見も踏まえながら調整ができる。
	教育公務員の使命と責任	教育公務員の崇高な使命を理解するとともに、自ら学び続ける意欲及び研究能力を有している。	教育公務員としての自覚をもち、組織の一員としての行動ができるとともに、専門性を高めるために自ら学び続けることができる。	教育公務員としての自覚を深めるとともに、自ら学び続け、分掌主任、学年主任等として、同僚に助言ができる。	教育公務員としての自覚を深めるとともに、自ら学び続け、学校マネジメントの中核を担う教員として、同僚に指導助言ができる。
学習指導と評価の力	授業構想力	学習指導要領を理解するとともに、育成を目指す資質能力を明確にした授業のイメージをもつことができる。	学習指導要領に基づき、育成を目指す資質能力を明確にした授業の指導計画を適切に実施できる。	学習指導要領及び自校の指導方針に基づき、育成を目指す資質能力を明確にした授業の指導計画を適切に実施できる。	学習指導要領及び自校の指導方針に基づき、育成を目指す資質能力を明確にした授業の指導計画を立案し、同僚に指導助言ができる。
	授業展開力	授業展開に必要な基礎的なスキルを獲得している。	基礎的なスキルを生かした授業展開ができる。	児童生徒の実態に即した授業展開ができる。	児童生徒の実態に即した授業展開について、同僚に指導助言ができる。
	授業評価と改善	学習評価の意義と方法について理解している。	児童生徒一人一人の学習状況の把握と個に応じた適切な指導ができる。	適切な授業評価に基づく授業改善ができる。	適切な授業評価に基づく授業改善について、同僚に指導助言ができる。
児童生徒指導と集団づくりの力	児童生徒理解	児童生徒理解の意義と重要性を理解している。	学級の児童生徒を取り巻く環境や多様な個性を理解し、児童生徒一人一人に向き合うことができる。	学年の児童生徒を取り巻く環境や多様な個性を理解し、児童生徒一人一人に向き合うことができる。	学校の児童生徒を取り巻く環境や多様な個性の理解について、同僚に指導助言ができる。
	児童生徒指導	個や集団を指導するスキルを理解している。	保護者や校内組織と連携して、個に応じた指導ができる。	関係機関等と連携した学年全体の指導ができる。	関係機関等と連携した学校全体の指導について、同僚に指導助言ができる。
特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	特別支援教育の実践	特別支援教育に関する理念や指導・支援方法等について理解している。	特別な配慮や支援が必要な児童生徒の教育的ニーズを把握できるとともに、保護者や校内組織と連携し、個に応じた適切な指導・支援ができる。	特別な配慮や支援が必要な児童生徒の教育的ニーズを把握できるとともに、関係機関等と連携し、個に応じた適切な指導・支援ができる。	特別な配慮や支援が必要な児童生徒の教育的ニーズを把握できるとともに、具体的な指導・支援方法等について、同僚に指導助言ができる。
ICTや情報・教育データの活用	ICTや情報・教育データを活用した教育の実践	ICT及び情報・教育データの活用に関する目的の理解や、知識・技術を獲得している。	ICTや情報・教育データを活用した授業及び児童生徒指導等を実践できる。	ICTや情報・教育データを活用した工夫ある授業及び児童生徒指導等を実践できる。	ICTや情報・教育データを活用した授業及び児童生徒指導等について、同僚に指導助言ができる。
教職の実践					・「芯の通った学校組織」を意識

「キャリアステージ」  
発展期／充実深化・円熟期

「本研修の目標」  
ICTや情報・教育データを利活用した工夫ある授業及び児童生徒指導等について、同僚に指導助言ができる

# 本研修のゴール

- 子どもたちを取り巻く状況を知り  
情報モラル教育の必要性を理解する
- 情報モラル教育実践への  
意欲をもつことができる



# 情報活用能力について

## 「情報活用能力」

情報及び情報手段を主体的に選択し活用していくための個人の基礎的な資質

### A 情報活用の実践力

- 課題や目的に応じた情報手段の適切な活用
- 必要な情報の主体的な収集・判断・表現・処理・創造
- 受け手の状況などを踏まえた発信・伝達

### B 情報の科学的な理解

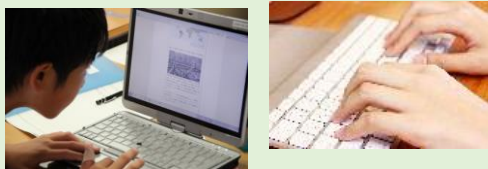
- 情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解
- 情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法の理解

### C 情報社会に参画する態度

- 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響の理解
- 情報モラルの必要性や情報に対する責任
- 望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度

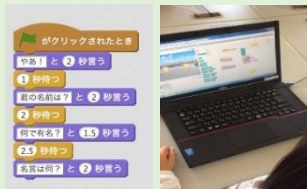
【取組例】

- ICTの基本的な操作、情報の収集・整理・発信  
(文字入力、インターネット閲覧、情報手段の適切な活用等) 等



- プログラミング  
(コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みの理解) 等

Scratchを活用した指導例 (小学校)



- 情報モラル  
(情報発信による他人や社会への影響等)



「教育の情報化に関する手引」より

# 情報活用能力について

## 「情報活用能力」

情報及び情報手段を主体的に選択し活用していくための個人の基礎的な資質

### A 情報活用の実践力

- 課題や目的に応じた情報手段の適切な活用
- 必要な情報の主体的な収集・判断・表現・処理・創造
- 受け手の状況などを踏まえた発信・伝達

【取組例】

- ICTの基本的な操作、情報の収集・整理・発信  
(文字入力、インターネット閲覧、情報手段の適切な活用等) 等



### B 情報の科学的な理解

- 情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解
- 情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法の理解

- プログラミング  
(コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みの理解) 等

Scratchを活用した指導例 (小学校)



### C 情報社会に参画する態度

- 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響の理解
- 情報モラルの必要性や情報に対する責任
- 望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度

「教育の情報化に関する手引」より

- 情報モラル  
(情報発信による他人や社会への影響等)



なぜ、必要なのか？

# 子どもたちを取り巻く状況



# ネット利用の実態（大分県）



## ① 子ども回答

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校			中学校			高校			全体		
		令和4年度 n=505	令和3年度 n=506	令和2年度 n=519	令和4年度 n=463	令和3年度 n=454	令和2年度 n=484	令和4年度 n=508	令和3年度 n=494	令和2年度 n=509	令和4年度 n=1476	令和3年度 n=1454	令和2年度 n=1512
1	スマートフォン	56.4	50.6	52.4	80.3	63.4	75.6	99.0	98.2	99.4	78.6	70.8	75.7
2	携帯電話	21.0	16.0	17.7	16.2	13.9	11.6	7.1	7.3	14.9	14.7	12.4	14.8
3	タブレット端末(iPad等・私物)	52.7	43.1	46.4	42.1	48.9	41.3	26.0	33.0	29.3	40.2	41.5	39.0
4	タブレット端末(学校貸与)				49.5	47.6		76.2	77.1		63.4	63.0	
5	パソコン	30.1	18.6	27.6	24.2	24.7	23.3	26.4	27.5	40.3	27.0	23.5	30.5
6	携帯音楽プレイヤー	8.1	7.1	8.7	8.6	8.1	10.5	5.1	9.1	7.3	7.2	8.1	8.8
7	ゲーム機	68.7	63.2	62.4	68.3	64.1	63.8	51.6	42.3	41.5	62.7	56.4	55.8
8	テレビ	69.9	62.3	58.4	66.5	61.5	64.0	53.0	58.9	49.9	63.0	60.9	57.3
9	インターネット利用機器はない	1.4	1.8	6.2	0.2	0.7	1.9	0.2	0.0	0.2	0.6	0.8	2.8
10	わからない	6.9	10.1	7.1	1.3	1.3	2.3	0.2	0.2	0.2	2.8	4.0	3.2
(再掲)	インターネット接続機器あり(利用率)	91.7	88.1	86.7	98.5	98.0	95.8	99.6	99.8	99.6	96.6	95.2	94.0

・小学生の91.7%  
中学生の98.5%が  
インターネット接続  
機器あり。

・小学生はテレビ、ゲーム機  
中学生はスマホで  
接続している割合が  
高い

## ① スマートフォンの利用について(子ども回答)

単位(%)

番号	内容	小学校			中学校 n=460	高校 n=508	全体 n=1473
		小2 n=236	小5 n=269	小(計) n=505			
1	自分専用のものを利用	20.8	30.5	25.9	73.3	98.8	65.9
2	家族のものを利用	53.8	40.1	46.5	16.1	0.6	21.2
3	利用していない	18.2	27.1	23.0	10.7	0.6	11.4

・中学生の7割以上が  
自分専用のスマホを利用

注: 数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

出典：大分県「令和4年度 青少年のネット利用実態調査結果」  
<https://www.pref.oita.jp/uploaded/attachment/2172071.pdf>

# ネット利用の実態（大分県）

## ① 利用するサービス(子ども回答)

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=233	小5 n=265	小(計) n=498			
1	SNS	21.5	37.7	30.1	77.9	91.5	66.4
2	動画視聴	65.7	86.4	76.7	92.2	91.7	86.8
3	音楽視聴	52.4	57.0	54.8	64.7	70.4	63.3
4	ゲーム	81.5	81.1	81.3	75.8	67.1	74.6
5	情報検索	27.9	71.3	51.0	76.4	75.0	67.3
6	ニュース	55.8	29.4	41.8	26.4	27.2	31.9
7	地図・ナビゲーション	19.7	15.5	17.5	29.7	33.9	27.0
8	電子書籍(読書)	24.9	15.8	20.1	28.6	28.8	25.8
9	ショッピング・オークション	27.5	8.7	17.5	13.2	24.1	18.4
10	お小遣いサイト				1.3	2.0	1.7
11	勉強のページやアプリ	31.3	42.3	37.1	11.3	12.4	20.4
12	動画をアップする	7.3	1.5	4.2	24.0	31.0	19.7
13	オンラインゲーム				49.1	44.2	46.5
14	ビデオ通話、Web会議など でのリアルタイムのやりとり				47.2	42.0	44.5

・ 利用するサービスは小学生ではゲーム中学生では動画視聴の割合が大きい。

・ 中学生は5割近くがビデオ通話などでのリアルタイムのやりとりを利用



# ネット利用の実態（大分県）

② 利用しているソーシャルメディアの種類(子ども回答)

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校			中学校 n=462	高校 n=507	全体 n=969
		小2	小5	小(計)			
1	LINE				82.3	98.8	90.9
2	Facebook				5.2	6.7	6.0
3	Twitter				28.4	57.0	43.3
4	Instagram				52.2	78.7	66.0
5	SNOW				29.0	32.3	30.8
6	17LIVE				0.4	0.6	0.5
7	YouTube				91.6	94.3	93.0
8	ツイキャス				6.1	8.5	7.3
9	MixChannel				0.0	1.2	0.6
10	ニコニコ動画・生放送				10.0	9.7	9.8
11	Tik Tok				62.6	64.5	63.6
12	Zenly				12.3	37.5	25.5
13	+メッセージ				14.1	14.6	14.3
14	Discord				13.0	22.7	18.1
15	カカオトーク				1.9	3.9	3.0
16	Skype				1.1	2.4	1.8
17	BoxFresh・Peing等 匿名質問アプリ				12.3	12.8	12.6
18	その他				2.6	1.6	2.1

中学生が利用している  
SNSは

- YouTube
- LINE
- Tic Tok

の順に多い。

# ネット利用の実態（大分県）

## ① 平日の利用時間(子ども回答)

単位(%)

番号	内容	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=233	小5 n=265	小(計) n=498			
					n=462	n=507	n=1467
1	使わない	18.5	4.2	10.8	1.3	0.6	4.3
2	30分未満	18.0	8.3	12.9	2.2	1.2	5.5
3	30分～1時間未満	26.2	20.0	22.9	8.2	6.5	12.6
4	1時間～2時間未満	21.5	23.0	22.3	25.5	23.3	23.7
5	2時間～3時間未満	6.0	21.9	14.5	29.0	29.8	24.3
6	3時間～4時間未満	3.0	10.6	7.0	12.8	18.3	12.7
7	4時間以上	6.4	12.8	9.8	21.0	20.5	17.0
(再掲)	2時間以上利用	15.4	45.3	31.3	62.8	68.6	54.0

注: 数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

小学生の31.3%・中学生の62.8%が、平日に2時間以上利用している

# 子どもたちを取り巻く状況

情報発信ツール  
(SNS等) の普及



情報通信端末を  
(複数) 所持

コロナ禍による  
在宅時間増加

インターネットが  
当たり前の世界を  
生きている  
子どもたちと向き合う

# ネットに関するトラブル

現在のネットに関するトラブルは、大きく以下のように分類することができます。

## 1 長時間利用



ゲームや動画、コミュニケーションにかかわる時間を使いすぎたり、「ながらスマホ」をする。

## 2 高額課金



たくさんのお金を使って、ゲームのアイテムなどを購入してしまう。

## 3 不適切サイトの閲覧



性的描写や暴力表現など青少年にふさわしくないサイトを閲覧する。

## 4 出会い



SNSで知らない人から会うことを求められたり、自分の画像を送ることを求められる。

## 5 著作権の侵害



無許可の映像や音楽のアップロードや、違法と知りながらの音楽や映像をダウンロードする。

## 6 不適切情報の発信



悪ふざけの写真やデマなどをSNSで発信する。

## 7 個人情報の投稿



SNSへのテキストや写真などの投稿から、個人を特定できる情報を流出させる。

## 8 悪口・いじり



グループトークでいじりや無視をしたり、短文の意味の取り違いによって誤解してしまう。

## 特に、小・中学生に多いトラブルは…

### ①主に、「コミュニケーション」に関するトラブル

- ゲームのチャット機能で暴言、悪口の書き込み
- LINE ・ YouTube での誹謗中傷

### ②主に、「個人情報」に関するトラブル

- YouTuber ・ TikTokerとして自宅を公開
- 写真加工アプリで友人の顔を加工してサイトにアップ

### ③主に、「使いすぎ」に関するトラブル

- ゲームで保護者のクレジットカードを使い高額の課金をした
- ゲームのアイテムのやり取りでケンカになった

# 情報モラル教育は大事！なのは分かっているけど…

① 動画等を使ってやってみるけど…

→ トラブル事例の紹介だけでいいの？



② 家庭との連携が大事だといわれるけど…

→ 家庭でのルールをつくれればいいの？



③ トラブルは多いし、重要なのは分かるけど…

→ 何を、いつ、やればいいの？



# よくある指導方法

## ①動画等を使ってやってみるけど…

- ・（極端な）トラブル事例をたくさん見せて、危険だと伝える
- ・動画を見た後、トラブル回避方法を考えさせる

自分は「**悪口**」なんて言ってないし。

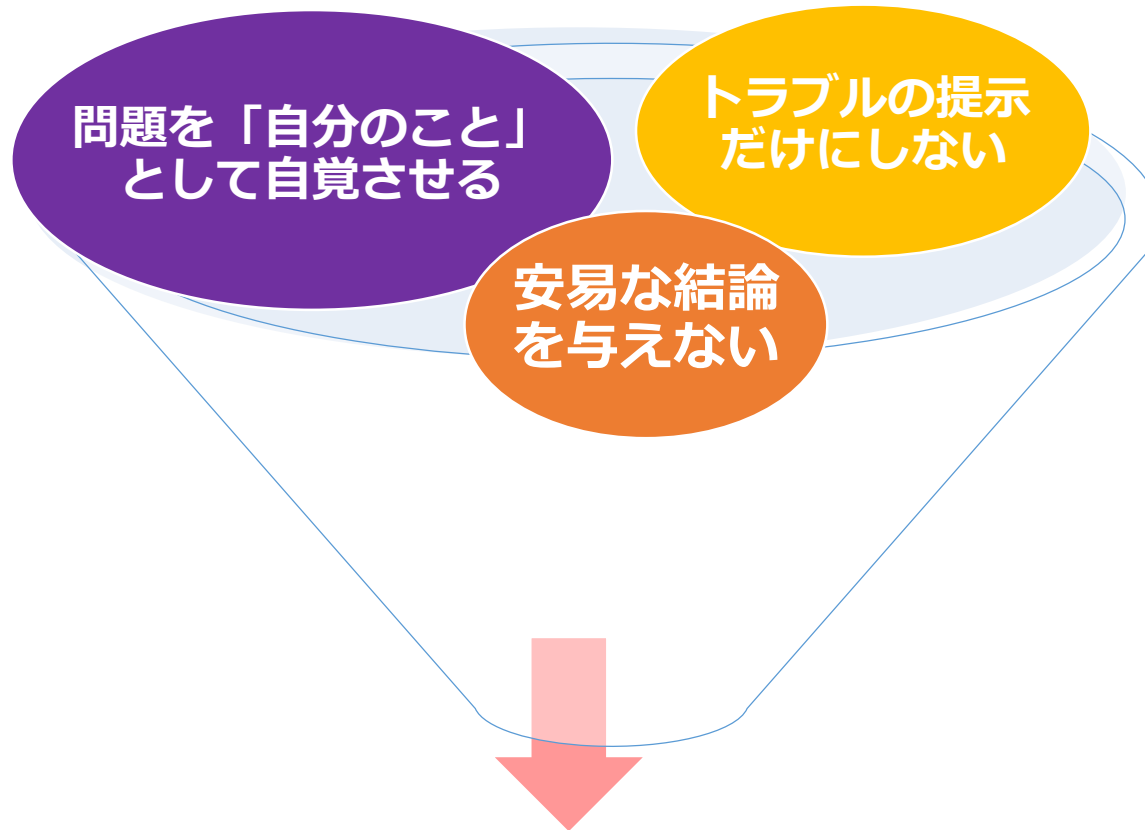
自分は「**不適切な写真**」なんてアップしないし。

自分はネットを「**使いすぎ**」てないし。



本当に、「**自分のこと**」として**自覚**できている？

# 情報モラル教育として大切なこと



どのように対応すればよいかを  
様々な状況で考え続けさせる





# 実践事例①

## ◇ SNS ノート LINE × 塩田研究室



- 様々な学習教材が掲載されている
- ネット経由でダウンロード可能



### 《参考》

- LINE × 塩田研究室が制作した「GIGAワークブックおおいた」も公開されていますが、今回の研修資料は、「SNSノート」を基に作成をしています。



# 活用してみよう①

ロイロノートで授業ができるようにしています



必要なカード等は、以下の場所にあります

資料箱

→大分県大分市 先生のみ

→06情報モラル教育

出典：【SNSノート】LINE × 塩田研

[https://d.line-scdn.net/stf/linecorp/ja/csr/sns\\_note\\_20200301.pdf](https://d.line-scdn.net/stf/linecorp/ja/csr/sns_note_20200301.pdf)

# 活用してみよう②

資料箱に保存されている  
カードを使用すれば  
授業を行うことが可能です



戻る 大分県大分市 悪口編

名前順 ↑

- 01\_スライド A  
2021年11月5日 20:19
- 02\_スライド Aの3ページ目で送るカード  
2021年11月5日 20:22
- 03\_スライド B  
2021年11月5日 20:22
- 04\_スライド Bの8ページ目の後に送るカ…  
2021年11月5日 20:23
- 05\_スライド C  
2021年11月5日 20:24

スライド A

スライド B

スライド C

3ページ目で「送る」カード

8ページ目の後に「送る」カード

# 活用してみよう③

## ◇この教材のねらい

本教材では、子どもたちの「ネットコミュニケーション・リテラシー」を育てるために、以下の3つを達成すべきねらいとしています。

### 使いすぎ編

「ネットを使いすぎない」を考えよう

- ① コミュニケーションを行う際に重要となる、自分と相手との考え方や感じ方の「ちがい」に気づくことができる。特に、同じテキストやイラストでも、人によって感じ方が違う場合があることに気づくことができる。
- ② ネットの特性を理解し、ネット上では、相手の表情や雰囲気かわからないので、「誤解」が生まれやすいことに気づくことができる。
- ③ 上記を踏まえ、自分の考えや気持ちを上手に相手に伝える方法について考えることができる。

### 悪口編

「悪口を言わない」を考えよう

- ① コミュニケーションを行う際に重要となる、自分と相手の考え方や感じ方の「ちがい」に気づくことができる。特に、人によって「夜遅い時間」や「使いすぎ」と感じる時間はちがうことに気づき、それにより生じるトラブルに気づくことができる。
- ② ネットの特性を理解し、ネット上では、相手の表情や雰囲気がわからないので、「誤解」が生まれやすいことに気づくことができる。さらに、自分が使い過ぎていることで、相手に迷惑をかける可能性があることに気づくことができる。
- ③ 上記を踏まえ、自分の考えや気持ちを上手に相手に伝える方法について考えることができる。

出典：【SNSノート】LINE × 塩田研

[https://d.line-scdn.net/stf/linecorp/ja/csr/sns\\_note\\_20200301.pdf](https://d.line-scdn.net/stf/linecorp/ja/csr/sns_note_20200301.pdf)

# 実践事例①

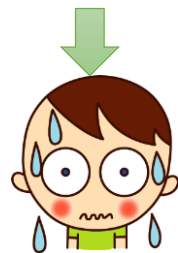


## ◇ SNSノート LINE×塩田研究室

- 様々な学習教材が掲載されている
- ネット経由でダウンロード可能



何が「悪口」なのか、何が「使いすぎ」なのか等をカードを用いて議論する。



「もしかしたら自分もやっちゃってるかも…」  
という自覚を促すことができる。

出典：静岡大学教育学部 塩田真吾 研究室  
<http://shiotashingo.main.jp/>

## 実践事例②

◇情報化社会の新たな問題を考えるための教材  
文部科学省



### ⑮ SNSを通じた出会いの危険性

SNS上で知らない人とつながることの危険性について取り上げ、なぜ知らない人と会ってしまうのかを考えさせることを通して、トラブルを未然に防ぐ方法を考える

# ネット利用の実態（大分県）

「やりとりをした人数（割合）は、  
昨年度よりも減っている

	内 容	中学校	
1	・ ネットで知り合った 会ったことがない人と メッセージやメール等のやりとりをした。	161人	32.4%
2	・ ネットで知り合った人（同性）とやり取り して、実際に会った。	15人	3.2%
3	・ ネットで知り合った人（異性）とやり取り して、実際に会った。	13人	2.8%
4	・ 会ったことはないが、会いたいと思った。	33人	7.1%

出典：大分県「令和4年度 青少年のネット利用実態調査結果」  
<https://www.pref.oita.jp/uploaded/attachment/2172071.pdf>

なぜ、会ったのだろうか？

なぜ、会いたいと思ったのだろうか？

「なぜ？」を考えることが大事！



## 会ったことがない人とやりとりすること（子ども回答）

	内 容	中学校	
1	・特に問題はないと思う。	83人	17.9%
2	・会ったことがない人とやり取りして、いい人と思えば、会うことは危険ではないと思う。	29人	6.3%
3	・会ったことがない人と、ネットでやり取りするのは危険があると思う。	169人	36.5%
4	・会ったことがない人と、実際に会うのは危険があると思う。	295人	63.7%

出典：大分県「令和4年度 青少年のネット利用実態調査結果」  
<https://www.pref.oita.jp/uploaded/attachment/2172071.pdf>



なぜ、問題はないと思うのだろうか？  
なぜ、危険ではないと思うのだろうか？

「なぜ？」を考えることが大事！



# 「会いたい」と思う気持ち(1)



あまり、かわいくないけど  
よかったらコメントください。

とってもかわいいよ！  
俺、カメラマンだから  
もっと可愛く撮ってあげる



「認められたい」  
という気持ちを  
満たしてくれる人

Twitter, Instagram, TikTok等で

誰も、ぼくのことを  
分かってくれない



ぼくを分かってくれる  
大切な人



俺は、いつも味方だよ。  
ビデオチャットで話さない？

# 「会いたい」と思う気持ち(2)

この指導では伝わらない

「知らない人には  
会わないようにしましょう！」



「認められたい」  
という気持ちを  
満たしてくれる人

ぼくを分かってくれる  
大切な人

⑦-1 裸や下着姿の写真のやりとり(子ども回答)

番号	内容	中学校 n=463	
		人	%
1	送ったことがある	1	0.2
2	写真を要求されたことはあるが送っていない	8	1.7
3	ない	452	97.6

親よりも、先生よりも、友だちよりも

「どんなところから、あやしいと判断できるか」

と考えられる危険予測力が大事！



考えてみよう

あやしい？  
あやしくない？

- いつでも、LINEして。話、聞くよ。
- 今度、2人だけで会わない？
- 僕の話は、だれにも言わないでね。
- 友だちも誘<sup>さそ</sup>って、アミュで6人で遊ばない？
- どこに住んでるの？住所、教えて。
- 自撮<sup>じど</sup>り写メ、送ってくれないかな？

# 考えてみよう

子どものための  
ネットあんしんセンター

LINE ID : @yuo7063g  
電話 : 097-534-5564  
(月・水・金14:00~17:30)

あやしい？  
あやしくない？

怪しいと思ったら  
必ず相談を！

- いつでも、LINEして。話、聞くよ。
- 今度、2人だけで会わない？
- 僕のことは、だれにも言わないでね。
- 友だちも誘<sup>さそ</sup>って、アミュで6人で遊ばない？
- どこに住んでるの？住所、教えて。
- 自撮り写メ、送ってくれないかな？



# 自画撮りを求められたら…

## 自画撮りの要求はきちんと断りましょう！

### ①拒否しているのに

1枚だけでいいから！  
イヤなんて言わないで  
ホントに一生のお願い！！



### ②脅されて

裸の写真を送らないとお前の住所をばらまくぞ！！



### ③だまされて

女性の医者です体の悩みを写真に撮って送ってね！



### ④困らされて

裸の写真をくれないなら別れるから！！



### ⑤金銭などの提供を約束されて

お小遣い足りないでしょ？裸の写真と交換であげるよ



<https://www.pref.chiba.lg.jp/kkbunka/kenzenikusei/documents/jigadori-chirashi.pdf>

「認められたい」という気持ちを満たしてくれる人

ぼくを分かってくれる大切な人

本当に、ぼく・わたしを大切に想ってくれている？

# 情報モラル教育は大事！なのは分かっているけど…

① 動画等を使ってやってみるけど…

→ トラブル事例の紹介だけでいいの？



「自分のこと」として  
自覚させ  
考え続けさせる

② 家庭との連携が大事だといわれるけど…

→ 家庭でのルールをつくれればいいの？



③ トラブルは多いし、重要なのは分かるけど…

→ 何を、いつ、やればいいの？



# 情報モラル教育は大事！なのは分かっているけど…

① 動画等を使ってやってみるけど…

→ トラブル事例の紹介だけでいいの？



② 家庭との連携が大事だといわれるけど…

→ 家庭でのルールをつくれればいいの？



③ トラブルは多いし、重要なのは分かるけど…

→ 何を、いつ、やればいいの？



# 家庭でのルール作り

## ◇ルール設定の役割

- ①「やってはいけないこと」を家族で確認する
- ②誘いを断る「正当な言い訳」を示す
- ③注意（叱る等）を与える際の根拠とする

家庭で話し合っ  
て欲しいことは？



## 家のインターネットルール いっしょに守ろう！



いつ使う？

夜、おそくまでは使わない



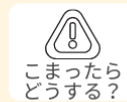
どれくらい使う？

使いすぎないようにする



してはいけないことは？

- ・ネット上に友だちの悪口を書かない
- ・ネット上で相手の嫌なことをしない
- ・不適切な写真をアップしない



こまったらどうする？

すぐ、親に相談する



# 大事ななのは「曖昧さ」を話し合うこと

親子でも認識は異なるもの。  
ルールを見ながら、話し合うことで  
**お互いを理解していくことが大事**です。



インターネットの  
使用時間を書き出す

🕒 「夜、おそく」  
って  
何時のこと？

## 家のインターネットルール いっしょに守ろう！



いつ使う？

夜、おそくまでは使わない



どれくらい  
使う？

使いすぎないようにする



してはいけない  
ことは？

- ・ネット上に友だちの悪口を書かない
- ・ネット上で相手の嫌なことをしない
- ・不適切な写真をアップしない



こまったら  
どうする？

すぐ、親に相談する

🕒 「使いすぎ」  
って  
何時間？

🚫 嫌なことって  
どんなこと？

🚫 悪口って  
どんな言葉？

⚠️ どんな時に  
相談したら  
いいの？

🚫 不適切な写真  
って  
どんな写真？

# 情報モラル教育は大事！ なのは分かっているけど…

① 動画等を使ってやってみるけど…

→ トラブル事例の紹介だけでいいの？



曖昧さを明確にし、  
作ったルールを  
いかしていく

② 家庭との連携が大事だといわれるけど…

→ 家庭でのルールをつくれればいいの？



③ トラブルは多いし、重要なのは分かるけど…

→ 何を、いつ、やればいいの？



# 情報モラル教育は大事！なのは分かっているけど…

① 動画等を使ってやってみるけど…

→ トラブル事例の紹介だけでいいの？



② 家庭との連携が大事だといわれるけど…

→ 家庭でのルールをつくれればいいの？



③ **トラブルは多いし、重要なのは分かるけど…**

→ 何を、いつ、やればいいの？



# 情報モラル教育の進め方

情報モラル = 日常モラル + 情報技術の特性

## 情報モラルの判断に必要な要素

### 日常モラル

#### 節度

- ・やりたいことを我慢する。
- ・欲しいものを我慢する。など

#### 思慮

- ・情報を正しく判断する。など

#### 思いやり、礼儀

- ・適切なコミュニケーション。など

#### 正義、規範

- ・情報社会のルールを守る。
- ・正しいことを実行する。など

### 情報技術の仕組み

#### インターネットの特性

- ・公開性：公開である。
- ・記録性：記録が残る。
- ・信憑性：信用できない情報がたくさんある。
- ・公共性：インターネットは公共の資源である。
- ・流出性：情報が漏れる。など

#### 心理的・身体的特性

- ・夢中になってやめられなくなる。
- ・非対面で伝わりにくい部分がある。
- ・不安になる。
- ・感情的になりやすい。など

#### 機器やサービスの特性

- ・夢中になりやめられなくなるサービスがある。
- ・いつでもどこでもつながることができる。
- ・サービスの提供側からさまざまな勧誘がある。
- ・無料であることをうたって利用を勧誘してくる。など

「できること」と  
「していいこと」は違う



# 指導する教科等

【各教科】	
国語	「伝え合う力」、「コミュニケーション能力」
算数	表やグラフで表現、情報の分類整理 ⇒ 資料の利用、引用
社会・理科 総合的な学習の 時間等	情報の区別・選別、著作権等
保健体育	健康管理
音楽・美術	著作権、肖像権
技術・家庭	コンピュータ、ネットの仕組、ルールやマナー
【特別の教科 道徳】	
道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる	
【特別活動】	
学級活動、学校全体での指導、日常指導	

# 情報モラル教育は大事！なのは分かっているけど…

① 動画等を使ってやってみるけど…

→ トラブル事例の紹介だけでいいの？



② 家庭との連携が大事だといわれるけど…

→ 家庭でのルールをつくれればいいの？



③ **トラブルは多いし、重要なのは分かるけど…**

→ 何を、いつ、やればいいの？

まずは「**日常モラル**」の醸成。  
そこから「ネット特性の理解」  
「リスクの想像・上手な活用」へ繋げる。



# 情報モラル教育は大事！

## ① 動画等を使ってやってみるけど…

→トラブル事例の紹介だけでいいの？

「自分のこと」として  
自覚させ  
考え続けさせる

曖昧さを明確にし、  
作ったルールを  
いかしていく

## ② 家庭との連携が大事だといわれるけど…

→家庭でのルールをつくれればいいの？



## ③ トラブルは多いし、重要なのは分かるけど…

→何を、いつ、やればいいの？

まずは「**日常モラル**」の醸成。  
そこから「ネット特性の理解」  
「リスクの想像・上手な活用」へ繋げる。



# おわりに



詳しくないから  
情報モラルの指導ができない

## ③ ネット利用時の相談先(子ども回答)

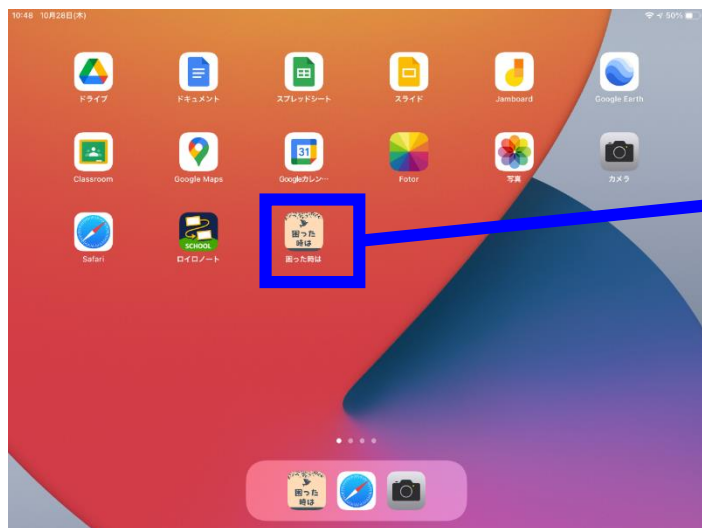
単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=34	小5 n=18	小(計) n=52			
1	家族に相談した	55.9	50.0	53.8	41.2	42.1	46.8
2	学校の先生に相談した	2.9	5.6	3.8	14.7	23.7	12.9
3	友人に相談した	8.8	22.2	13.5	41.2	57.9	34.7
4	ネット上の友達に相談した	11.8	5.6	9.6	8.8	15.8	11.3
5	知り合いの大人に相談した	5.9	0.0	3.8	0.0	5.3	3.2
6	消費者相談・ネットあんしんセンター等専門相談窓口、警察				0.0	0.0	0.0
7	「Yahoo!知恵袋」や「教えて!goo」などの質問・相談サイト				2.9	7.9	5.6
8	トラブルはあるが誰にも相談しなかった	29.4	33.3	30.8	20.6	7.9	21.0

大事ななのは、**子どもが「話せる相手」**でいること。



# 困った時は



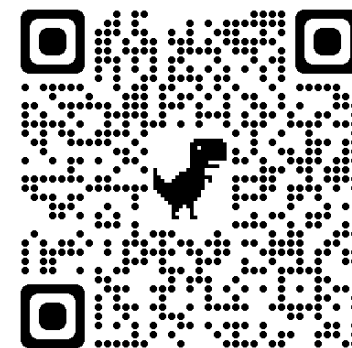
iPad上にアイコンを設置

## 【リンク先一覧】

- ・エデュ・サポートおおいた
- ・孤独・孤立対策
- ・チャイルドライン
- ・ネットトラブル相談窓口
- ・スクールセクハラ相談窓口
- ・サイバー犯罪対策課

児童生徒が悩みを抱えた時に、**相談できる窓口を紹介した**  
**サイト**につながることができます。

先生が、この窓口の存在を知っておくことが大事！



# 本研修のゴール

校内での共有を  
お願いします。

- 子どもたちを取り巻く状況を知り  
情報モラル教育の必要性を理解する
- 情報モラル教育実践への  
意欲をもつことができる



ロイロに入っている  
資料を使った実践から！

子どもたちと共に悩み、学べる教職員に



先生方が困った時は  
私たちがサポートします！